

秋の農作業安全確認運動

期間：9月1日（金）～10月31日（火）

秋は収穫等の農作業が増えると共に、空気が乾燥したり、日没が早まったりするなど作業中の事故が発生しやすくなります。

死亡事故の多くは、トラクターなど大型機械の操作ミス等によるもので、特に70歳以上の高齢者に多く発生しています。

以下のチェック事項について、家族ぐるみ・地域ぐるみで確認しあって、農作業安全に努めましょう！！

日頃の作業を振り返り、自分の取り組みをチェックしてみましょう！

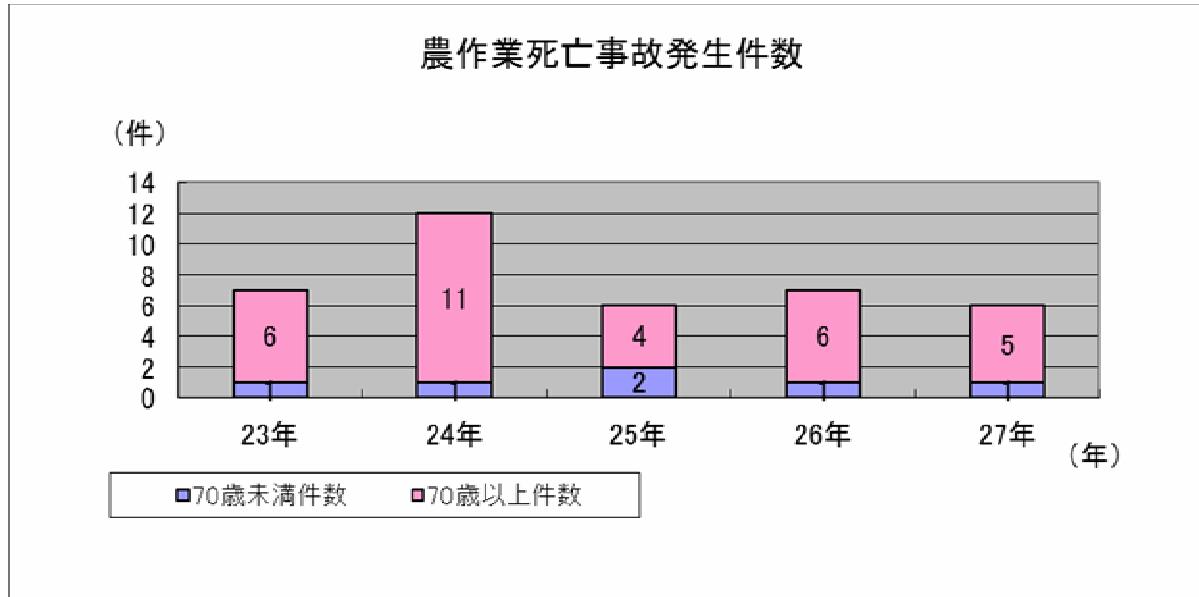
項目	内容	チェック欄
正しい服装	作業に適した服装を	
所在連絡	作業内容や作業場所を家族などにきちんと伝達	
携帯電話	緊急時に備え、携帯電話を忘れずに	
体力調整	準備運動をしっかりと	
焦り防止	余裕をもった無理のない作業計画を	
作業者確認	子供、妊婦、不慣れな人に危険作業はさせない	
周囲確認	周りの作業者に危険が及ばないよう、周囲を確認	
複数人作業	危険作業は複数人で	
機械安全確認	安全装置をきちんと装着	
エンジン停止	機械から離れる時や点検する時はエンジンを切る	
適当な休憩	疲労が蓄積しないようにこまめな休憩を	
危険箇所の確認	危険箇所を確認し、看板等目印を設置	
技術講習	不慣れな機械作業は講習を受けてから	
労災・共済	万一の事故に備え、労災保険や傷害共済に加入！	
応急処置	万一の事故に備え、応急処置の知識を身につける	

<長崎県 農林部 農業経営課>

長崎県で発生した農作業死亡事故の概要

(平成23年～平成27年)

(1) 農作業死亡事故発生件数の推移



(2) 原因内訳(5ヵ年)

原 因	件数	割合
農業用機械作業	転落・転倒	17 45%
	挟まれ	5 13%
	ひかれ	0 0%
	その他	1 2%
農業用機械作業 以外	ほ場、道路からの転落	4 11%
	稻ワラ等焼却中の火傷	4 11%
	高所からの転落	0 0%
	溺水	1 2%
	熱中症	0 0%
	その他	6 16%
合 計	38	100%

<調査方法> 厚生労働省の「人口動態調査」に係る死亡小票の中から、毎年1月1日～12月31日までの1年間の農作業死亡事故について調査したもの(農林水産省公表)。